

平成25年度 「岡山県児童生徒いじめ防止ポスター・標語」県教育長賞・優秀賞作品

県教育委員会では、6月の第1月曜日からの1週間を「いじめについて考える週間」と設定し、学校や家庭、地域において、いじめを許さない意識や態度を育み、いじめの未然防止に向けた取組の充実を図るとともに、「いじめ防止ポスター・標語」の募集を行っています。次の作品は、平成25年度に応募のあった作品のうち、県教育長賞及び優秀賞を受賞された作品です。

岡山県教育委員会教育長賞

【ポスターの部】



赤磐市立高陽中学校3年
岸本 里菜

〔コメント〕
自分はいじめをしていないと思っても、客観的に見るといじめになっているかもしれません。一人ひとりがちゃんと自分を見ることができれば、いじめは無くなるのではないかと、私は思います。

【標語の部】

からかいは いじめと続く 第一歩

岡山市立京山中学校3年 城井 彩乃

〔コメント〕
最初は遊びのつもりで「からかい」をしても、受けた相手にとっては、嫌な気持ちになることもあります。それが「いじめ」へと続く第一歩にならないようにという思いを込めて標語をつくりました。



そのいじめ つもりじゃないは 通らない

倉敷高等学校2年 柚木 章宏

〔コメント〕
現在では、誰もが罪として分かっていると思込んでいる「いじめ」。けれどもそれが「いじめ」だと思わず、己に罪はないと頭の中で構成できてしまっている。他者から咎められた時に罪の重さを知る。知っても逃げられない。もしかしたら身体や心は逃げられるかもしれない。「つもりじゃない」「そうなると思っていなかった」は、逃げるための言い訳。しかし、罪への思いは重く、一人の人間では耐えられなくて、恐くて怖くて、最後に壊れてしまうだろう。だから罪への意識を忘れてはならないのです。



優秀賞



矢掛町立美川小学校1年
江尻 未央



倉敷市立老松小学校1年
田口 唯翔



津山市立東小学校2年
福田 裕也



笠岡市立大島東小学校3年
山田 響



倉敷市立中洲小学校4年
出原 歩実



和気町立佐伯小学校6年
西中 悠真



倉敷市立倉敷第一中学校1年
大塚 加奈子



県立玉島高等学校2年
有馬 美晴

標語の部

いじめなし えがおあふれる いいクラス 倉敷市立連島西浦小学校2年 瀬古 康介
話そうよ つらい心と 胸のうち 玉野市立宇野小学校3年 立花 和香奈
もう言わない 悲しい気持ちに なる言葉 総社市立阿曾小学校5年 加藤 薫
「どうしたの？」 いじめ防止は 言葉から 真庭市立天津小学校6年 金田 彩恵子

ありがとう 携帯よりも 顔を見て 倉敷市立福田中学校1年 本行 桃果
止めようよ! 見ているだけの そのキミ 笠岡市立笠岡西中学校2年 増成 渉
いじめです 見て見ぬふりも いじめです 倉敷市立味野中学校3年 佐々木 駿
傍観者 一歩動けば 救済者 県立倉敷天城高等学校1年 小原 智樹

※学年は平成25年度のものです。

平成25年度 大好評! 「わが家のすこやか日記」

泣いたり、笑ったり、時にはおこったりと子育ては日々ドラマの連続です。「わが家のすこやか日記」では、家族のふれあいや子育てに関するエピソードなど、子どもから大人まで様々な世代の方から昨年度お寄せいただいた作品のうち、優秀作品10作品を紹介いたします。

手も心もぽかぽかで賞

ママのて

ボクのママはときどきやきんでよるにいません。そんなひはママのかわりにいもうとのとてをにぎってあげてねます。おにいちゃんなんだから、ママのかわりをしっかりしなくちゃ!でも、ほんとにはボクもさみしいときがあります。ママがいるよるは、ママがまんなかかかわのじでてをつないでねます。ママのては、とってもあったかいです。

備前市立伊里小学校 第1学年 勝田 直仁

ぼくは「元気ぐすり」で賞

ぼくはくすり

ぼくは、おばあちゃんのくすりなんだって。おばあちゃんがちょうしがわるいときに、おみまいに行くと「けいやくきたから元気になったわ。」と言う。ぼくに会うと元気になるんだって。だからきょうもおばあちゃんに会いに行く。ずっと元気でいてほしいから。

里庄町立里庄西小学校 第2学年 水本 恵也

ずっとおじいちゃんとなかよしで賞

大好きだったおじいちゃん

ぼくがようちえんとき、大好きだったおじいちゃんがびょうきで、なくなりました。おじいちゃんはぼくとよくあそんでくれて、なかよしでした。ぼくが何をしてもわらって「たっくんはええこじやなあ。」と言ってくれました。今、ぼくは、おじいちゃんのいえにいくと、ぶつだんのまえではんにやしんぎょうをよみます。ロウソクの火はおねえちゃんがつけてくれます。おじいちゃんが今でもぼくを見まもってくれてるからです。ぼくもまごとあそぶやさしいおじいちゃんになりたいです。

倉敷市立玉島小学校 第2学年 小川 拓也

お母さんのごはんは最高で賞

お母さんのごはん

わたしはお母さんの作ったごはんがとっても大好きです。レストランで食べるのも好きだけど、やっぱり、お母さんが作ったごはんの方が安心して何はいでも食べられます。家で家族そろって食べるのが楽しいです。

新見市立高尾小学校 第3学年 古田 小桜

あいさつがすてきにひびくで賞

大きなあいさつ

わたしは、毎日学校から帰ると工場の中へ、入って「かえったけー。」と大きな声でいいます。なぜかという、工場に入ると機械の音が大きくて、お父さんは、わたしが、帰ったことが、わからないからです。おもいっきり、その日一番の大きな声を出します。わたしが帰ったことが、わかると、お父さんは、左手をあげてくれます。たまに手もふってくれます。その時は、ちょっとうれしいです。

新見市立高尾小学校 第4学年 西村 珠梨弥

ぎゅうっとぴったり!ハッピーで賞

みんなでぎゅうっ

私は五年生になって自分の部屋ができた。あこがれだった自分の部屋だ。夜はベッドで一人でねるようになった。けれど、今年の夏は暑かったので、夜はエアコンのきいた部屋に家族みんなで布団をならべてねた。1つの部屋に家族五人分の布団をならべると、ぎゅうぎゅうめだ。でも、なぜかこのぎゅうぎゅう感が心地いい。お父さんのいびきがどんなにうるさくても、ねぞうの悪い弟の足が顔にのっかっても私は、家族みんなでねれるのがうれしい。今はすずしくなって、自分の部屋で一人でねているけれど、また、時々家族みんなでいっしょにねたいな。ぎゅうっとなって。

矢掛町立矢掛小学校 第5学年 室 萌花

これからも毎日電話で話しま賞

おじいちゃん今日何食べた

夜九時になると毎晩必ずすることがある。それはおじいちゃんへ電話をすることだ。去年おばあちゃんがなくなってから、毎日続いている。毎晩決まって「おじいちゃん今日何食べた。」と聞くのだ。今まで何もしたことがなかったおじいちゃんが、毎晩ごちそうをして食べている。そして遊びに行くことと私たちにうでをふるってくれるのだ。おじいちゃんこれからもおいしいものをたくさん食べて長生きしてね。

里庄町立里庄西小学校 第6学年 水本 悠里

この家に生まれてよかったで賞

誕生日

毎年誕生日に母と話す会話がある。生まれた時の話だ。母は私たち3人兄弟の生まれた時間やグラム、おなかの中にいた時のことを細かく覚えている。「自分の子なんだから当たり前。」と笑うが、私はまだよく分からない。でも、こういった話は何度聞いてもあきず、自分に自信が持てる。この家に生まれてよかったと心から思う。私の目標は両親のような人になることで、自分にも子どもができれば、誕生日には生まれた時の話をしようと決めている。

県立瀬戸南高等学校 第2学年 時信 沙織

母の愛に感謝で賞

母の愛

なかなか旅行に連れて行ってくれないママが、急に旅行に行こうと言ってきた。私の家は母子家庭で、母は体が弱くあまり働いていないので、お金があまりないため、旅行なんてめったに行けない。だから普段、旅行に行きたいなんて言わないようにしていた。なぜだろうと思いきって理由を聞いてみると、「あなたにはいろいろと迷惑や苦勞をかけてるし、勉強も頑張ってるからご褒美のつもり。」その言葉を聞いて泣いてしまった。母がこんなことを考えていたなんて思いもしなかった。あまりにも嬉しくて涙が止まらなかった。母の愛を強く感じた。

〔補足説明〕

子どもの時間は短く、みなすぐ大人になってしまう。だから今だけの時間と思い出を大切にしていきたい。そして、育ててくれた親に、今度は自分から恩返しをしたい。

県立瀬戸南高等学校 第3学年 大槻 真澄

これからも子育て楽しみま賞

思わぬ出来事

毎年、母の日に重なる町内一斉清掃。我が家からは私が参加。終了時間は昼12時過ぎでした。かなりの重労働です。「座る間もなく昼ご飯の用意だなあ。」と思いながら帰宅しました。玄関に入ったら目の前には、下の息子(当時5年生)が立っていました。「かあさんお帰り…疲れたるーご飯食べねえ。」と椅子を引いてくれ、目の前に用意されたのは、家庭科で習ったばかりという野菜いためとおにぎりでした。形も、大きさもバラバラの物でしたがうれしさいっぱいでした。とってもおいしかったです。息子も12歳、少しずつ反抗期に…でも心の根っこは、とっても素直でやさしい子です。体と心の成長を見守りながら、そして、子育てを楽しみながら、日々を過ごしていこうと思います。

倉敷市 福岡 勝美

その他の作品や過去のものは、こちらから [生涯学習課 すこやか日記 検索](#)